

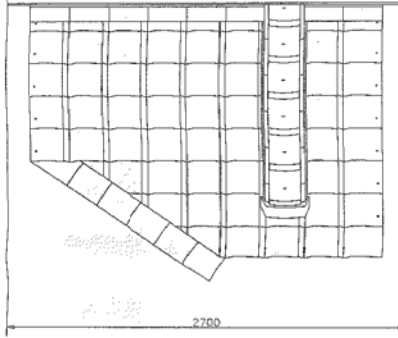
# 全瓦連技能グランプリ2016 京都大会がいよいよ開幕!

3月18日から

## 降棟と谷袖瓦納め

### 11府県・13選手が腕を競う

全日本瓦工事業連盟(澤井幸夫理事長、47会員2885社)は、3月18日(日)20日(月)まで、京都市の京都パルコで「全瓦連技能グランプリ2016 京都大会」を開催する。本橋では全瓦連が発表した資料より、競技課題や仕様の一部、競技用材料、13名の出場選手(平均年齢37歳、日程・作業時間を抜粋して掲載する。全瓦連の主催は7回目、4度目の地方開催だ。



- 競技課題は「三州いぶし瓦53A判防災切落瓦の降棟・腰書き懸谷袖瓦納め」。
- 発表資料によると、① 架台1台を2名の選手がそれぞれで競技する。② 3月18日の競技会場下見時に施工架台の抽選を行い、抽選後2時間を限度として、壁部への下葺材の施工、瓦の点検選別、瓦座打ち、瓦機打ち、軒・袖下端の墨出し、地割りおよび架台に緊結線の取り付けを認める。とされている。
- 【仕様】(原文のまま)
1. 使用瓦は三州いぶし瓦53A判防災切落瓦を使用する。
  2. 全ての瓦の納まりは現場作業を想定した施工とし、雨仕舞に配慮すること。また架台瓦書き以外の面は板金屋根を想定する。
  3. 瓦の書き方は、引掛機書き(引掛機)を使用し、土の(使用は可)とする。
  4. 軒瓦は一字軒瓦を使用し、軒瓦の尻部分には銅線納めもしくはビス留めとする。軒瓦の書き出し位置は自由とする。
  5. 袖瓦は、尻部2箇所を銅線納めもしくはビス留めとし、袖部は壁に隙間なく納める。又、袖瓦下端外面と架台外面までの寸法は左右対称とし、袖瓦の出す法納まりは等り瓦座より左右対称とする。
  6. 一字軒瓦の出寸法は瓦座外面から60×90mm流れ寸法とする。なお、計測の位置は瓦座から文字軒瓦の水垂れ外面までの寸法とする。
  7. 谷瓦は板金屋根を想定した部分に施工し、箇所を機木又は野地へ銅線納めする。谷袖瓦の書き出しは機木の書き出しと異なる。谷袖瓦を納める張れ度は自由とする。谷の左勝手と谷袖瓦の重なり寸法は60mm以上とする。
  8. 機瓦は全数ビス留めとする。壁際の瓦は穴をあけ留め付ける。谷の左勝手瓦は谷袖瓦と平行にカットして通り良く納め穴をあけ、野地又は機木へ銅線にて緊結。又、ビスにて留め付ける。定着用に南蛮塗喰を使用し、谷の左勝手瓦と野地の空間は面戸塗喰仕上げとする。壁際塗喰が谷袖瓦に乗り込まないこととする。
  9. 壁際半端軒瓦と壁との隙間寸法は、15mm以内とし、全数銅線にて壁面に38mmビスで留めつける。土居瓦の台土は、台瓦瓦の30mm以上内側に入る。割製斗瓦のチリは、勾配で10mmとする。斗瓦の勾配は3寸勾配以上とする。
  10. 降棟瓦は1段目の機瓦上に壁機勾配に對して直角に#19の銅線を使用して取り付ける。尚、鬼瓦下の面戸処理は行わない。
  11. 降棟下トンネル瓦は機瓦瓦を加工して納め、銅線にて野地に38mmビスで留めつける。降棟レールは60mm以上とする。
  12. 降棟野地瓦は互いに全数緊結する。降棟機瓦は台瓦より30mm以上内側に入れ、機瓦に触れぬように注意する。割

#### 日程及び作業時間

3月18日(日)	集合時間 13:00	大会説明及び抽選 13:30	入場及び準備作業 14:30	作業終了 16:30	2時間(準備作業)
3月19日(月)	集合時間 8:30	開会式 9:00	作業開始 10:00	作業再開 13:00	2時間(作業)
3月20日(火)	集合時間 8:10	作業開始 8:30	作業再開 13:30	閉会式 14:00	2時間(作業)
作業時間 合計 7時間15分					

#### 出場選手13名(敬称略)

組合名	事業所名	氏名	種
福島県瓦工事業組合連合会	引地瓦店	引地康仁	36
茨城県瓦工事業組合連合会	小林瓦工業	新井康仁	39
栃木県瓦工事業組合連合会	屋根の大岩	大岩洋	41
新潟県瓦工事業連合会	南間藤高匠	間藤公潤	29
岐阜県瓦工組合	南鈴木瓦店	鈴木祥連	35
大阪府瓦工工業協同組合	匠瓦葺工業	堺谷秀一	33
京都瓦工事業組合連合会	南セラム	小牧俊貴	32
京都瓦工事業組合連合会	フゴノ瓦店	畚野明憲	39
京都瓦工事業組合連合会	覚技塾徳外瓦店(南)	徳外秀治	54
和歌山県屋根工事業協会	西前瓦産業	西前雅士	39
兵庫県屋根工事業連合会	大谷瓦工	興津龍二	35
福岡県瓦工組合	熊本北部屋根総業	兼竹剛史	38
熊本県瓦工組合	術佐数瓦工業所	工木雅晴	36

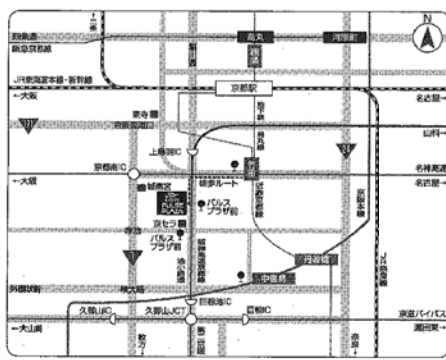
※2015年11月27日現在、全瓦連資料より

■谷瓦で屋根にまとまり感  
今回の課題、見所は谷瓦。「文獻などによれば、戦じてみては、写真上銅板などによる谷納めは比較的历史が浅い」のだという。城郭建築では「一本平を使った谷納めが多い」。

谷瓦を使えば、屋根全体が瓦で納まり、まとまり感がある。銅板の穴あきも防ぎ、瓦屋根の付加価値も高まる。現場で挑戦してみたい。写真上銅板などによる谷納めは比較的历史が浅いのだという。城郭建築では「一本平を使った谷納めが多い」。



使用瓦	枚数
三州いぶし瓦53A判防災切落し(丸柴陶業株)	
53A防災切落機瓦	49
一字軒瓦(1.5寸)	5
左袖瓦	7
右袖瓦	9
右角瓦(重箱)	1
左角瓦(重箱)	2
カエズ7寸一字鬼瓦	1
厚のし瓦	33
紐伏間瓦	6
架台使用瓦総数	113



13. 軒・袖・角等外周部の瓦は、バックン付きビスにより補強留め付けをする。但し谷袖瓦は除く。
14. 書き土は南蛮塗喰とし28kg入り5袋とする。
15. 瓦を破損した場合、はし出しにより支給するが、減点の対象とする。
16. 副資材の追加支給はない。但し南蛮塗喰の追加は認められる。
17. 作業時間を超過した場合、失格とする。



和泉 本社工場長 野田 衣浦工場長

ヤネ屋さんの技あつての カワラ屋の業です

全瓦連グランプリ  
京都大会  
を応援  
しています